

9月5日 親族・恩人の追悼 記念

サラゴサの聖プラウリオ司教の手紙

「復活のキリストは信じるすべての人の希望」

すべての信じる者の希望であるキリストは、この世を去る人を死者とは呼ばず、眠りにつく者と呼んでおられます。「わたしたちの友、ラザロが眠っている」と主は仰せになりました。使徒パウロも、眠りについた人たちについては嘆き悲しまないようにと、わたしたちを戒めています。キリストを信じるすべての人は、福音の言葉のとおり決して死なないと信仰が教えているのですから、わたしたちは、「最近帰天した友人が」死んだのではないこと、また、わたしたち自身も死ぬことがないということを知っています。

実に、「合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主ご自身が天から降って来られます。すると、キリストと結ばれて死んだ人たちが復活するのです。」大切なことはただ主を固く信じ、主の掟に従うことです。わたしたちが眠っている人を起こすよりも、主はもっとたやすく死者を復活させる偉大な力を持っておられるのです。しかし、口ではこう言っても、どうしようもないやるせなさから涙があふれ、哀惜の情が信仰をもっているわたしたちの心を悩ませます。ああ、人の運命とはなんと惨めなもので、キリストなしには、わたしたちの人生はなんとむなしなものなのでしょう。

互いに結ばれた人々を分かち、愛し合う者を引き裂く残酷な死よ、もうお前の力は砕かれている。だから、わたしたちは使徒パウロと共にお前に言おう。「死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」死に打ち勝たれた方がわたしたちを贖ってくださったのです。「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。」実に、わたしたちは自分のものではなく、わたしたちを贖ってくださった方のものであって、その方の意志が常にわたしたちの意志を支配しなければなりません。だからわたしたちは祈るとき、「み心が行われますように」と言うのです。